

「E-TOPIA：教育支援者を目指す学芸大生のためのページ」 を公開しました！

2024年3月に「E-TOPIA（イートピア）：教育支援者を目指す学芸大生のためのページ」を公開しました。教育支援課程で学ぶ学芸大生にとって参考となる情報をまとめて提供するページです。



[図書館 Web サイト > E-TOPIA：教育支援者を目指す学芸大生のためのページ](#)

ここがポイント！ E-TOPIA（イートピア）

- 各コースの学びで役立つ情報を紹介
 - ・ コースに関連する主題の図書分類やキーワード
 - ・ コースに関連するウェブサイト
- お薦め図書リストを紹介
 - ・ 「じぶんのこれからを考える」図書リスト
→ じぶんの将来・あり方、
キャリアなどに関する図書
- 図書館の活用方法を紹介
 - ・ ラーニングコモンズ・グループ学習室
 - ・ データベースの活用



「E-TOPIA:教員を目指す学芸大生のためのページ」では、教員志望の学芸大生にとって参考となる情報を紹介しています！

こちらもチェック！

[図書館Webサイト > E-TOPIA トップページ](#)



祝！！ Library of the Year 2023 優秀賞受賞！！



Library of the Year 2023において、東京学芸大学附属図書館と東京学芸大Explayground推進機構MOLが優秀賞を受賞しました。「Library of the Year」とは、全国各地の図書館等の知的情報資源に関わる機関・組織が行っている先進的な取り組みを対象として、様々な館種を超えて優れた図書館等の活動を称賛する日本で唯一の賞です。NPO法人知的資源イニシアティブ（IRI）が選考・授与しており、2006年から毎年実施され、今年で18回目となりました。"良い図書館を良いと言う"という標語のもとに、図書館等が行っている「活動」を選考し、他の図書館の参考になる先進的な事例が表彰されます。

〈評価された活動〉

- ・学校教材発掘プロジェクト（教育コンテンツアーカイブ）
- ・E-TOPIA(教員・教育支援者をめざす学芸大生のためのページ)
- ・「学芸本ガチャ！」 ・デジタル書架ギャラリー
- ・オンライン朝読書ルーム ・Labosui（ラボスイ）

[Library of the Yearの選考過程\(IRI\)](#)

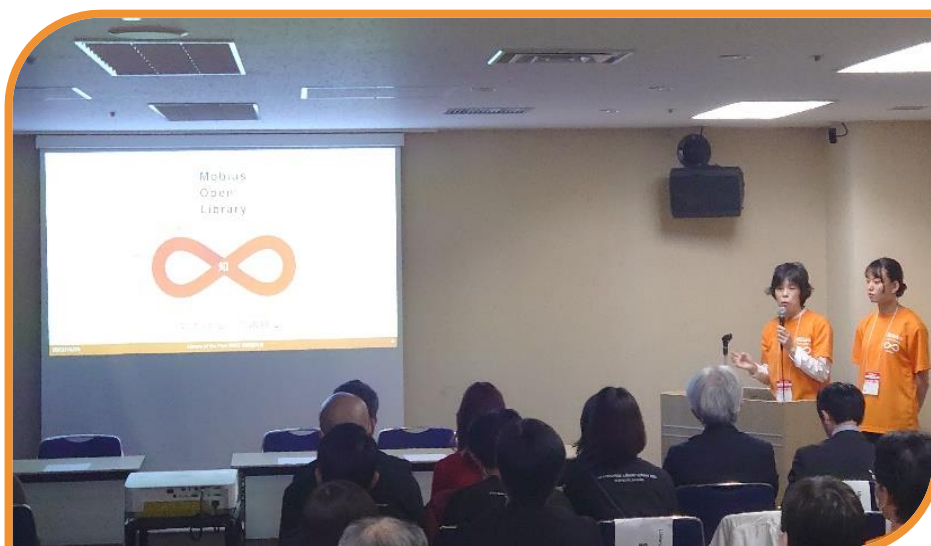


東京学芸大Explayground推進機構

東京学芸大学とMistletoe Japan社が連携し、「LAB（ラボ）」と呼ばれる様々なプロジェクトを作っている。〈遊びから生まれる学び〉を大切にして活動している組織。

Möbius Open Library（MOL）

図書館と知の未来について考える活動を行っているExplaygroundのラボ。



当館では、他の図書館にはない「遊び」を大切にしたユニークな活動を行っています。²
これからも様々な活動を行っていきますので、ぜひご注目ください！

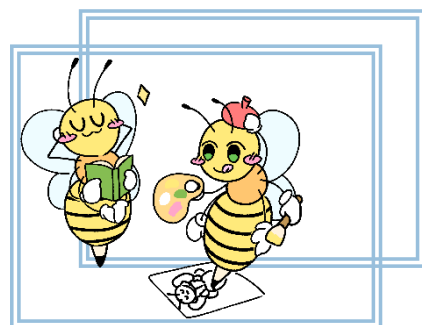
創基150周年記念企画展示「東京学芸大学150年の歩み」が 開催されました！

2023年に本学は前身校から数えて150周年を迎えました。

これを記念して 2023年11月1日（水）～15日（水）、附属図書館1階セミナーエリアにて、創基150周年記念企画展示「東京学芸大学150年の歩み」が開催されました（主催：大学史資料室、共催：附属図書館）。

本展示は、現物資料やパネルのほか、大学史資料室作成の動画の上映もあり、師範学校時代から現在にいたるまでの東京学芸大学の150年間の軌跡をたどることができる内容となっていました。

会期中は学生や教職員、ご卒業生など、本学に所縁のある方が多くご来場され、本学の歴史にそれぞれの思いを馳せていました。



『東京学芸大学150年の歩み 1873-2023』の 全文を公開しています！

創基150周年記念事業の一環として刊行された『東京学芸大学150年の歩み 1873-2023』の全文を教育コンテンツアーカイブにて公開しています。

本書は、学生の皆さんが学芸大の歴史を学ぶためのテキストであることもコンセプトの一つとされており、学生の生活や学びについての内容も多く盛り込まれています。ぜひご覧ください！

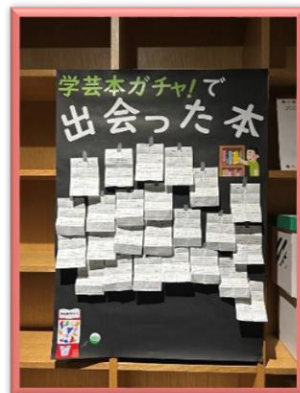


秋学期「学芸本ガチャ！」開催報告

普段出会わない本との出会いや電子ブックの利用促進を目的として
2022年より「学芸本ガチャ！」を実施しています！！



[図書館Webサイト](#)
>[学芸本ガチャ！](#)



- 「2023学びの秋企画学芸本ガチャ！～読書の世界を広げよう～」
2023/10/16～12/28

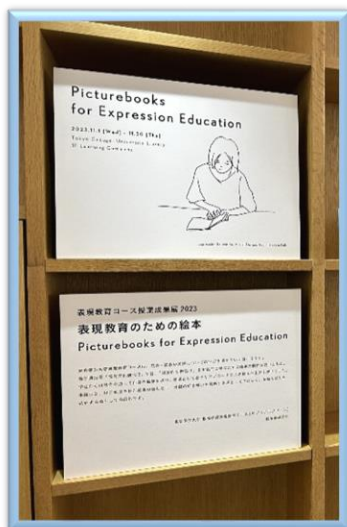
感想を書けるコーナー「学芸本ガチャ！で出会った本」を初めて設置しました。たくさんのご参加ありがとうございました♪

- 「2024大河ドラマ関連企画「学芸本ガチャ！」」
2024/1/10～2024/2/29

2024年大河ドラマ「光る君へ」関連企画実施に向け、紫式部や源氏物語に関する資料を新しく購入し、図書館で利用できるようにしました！
新設したオンラインガチャ「源氏物語」もぜひ遊んでみてくださいね！



「Picturebooks for Expression Education 表現教育のための絵本」展示報告



絵本の展示「Picturebooks for Expression Education 表現教育のための絵本」が、2023年11月1日（水）～11月30日（木）に附属図書館ラーニングcommonsで開催されました。この展示は、東京学芸大学の表現教育コースにおける春学期の授業、「視覚文化研究B（博多歩先生担当）」の授業で学生たちが制作した絵本をラーニングcommons内に展示したものです。

多様なアプローチで描かれた絵本が展示され、来館者は個性あふれる作品に見入っていました。



附属図書館の展示棚は現在、学内者が授業の成果などを
展示できる場として貸し出しを受け付けています！



[図書館Webサイト](#)>
[利用案内](#)>[図書館の利用](#)>[展示棚の貸出](#)

附属図書館は中学校との連携を行っています！



附属小金井中学校(GREEN TECH ENGINEER LAB)から什器をいただきました！

学芸大EXPLAYGROUNDのラボの一つである、GREEN TECH ENGINEER LABに所属する附属小金井中学校の生徒さんから、図書館に什器をご寄贈いただきました。

GREEN TECH ENGINEER LABでは、どんな什器を作るかなど、中学校の生徒さんが企画から作成を行っています。附属図書館ラーニングコモンズの資料エリア付近にあるベンチを、日頃利用している方も多いのではないのでしょうか？あのベンチも、2021年に附属小金井中学校の生徒さんが制作・寄贈してくださったものです。

今年は、グループワークエリアにて図書の展示などに利用できる本棚をいただきました。こちらもこれから活用させていただきます！

図書館にお越しの際は、ぜひ実物を見て、実際に座ったり触れたりしてみてください。

GREEN TECH ENGINEER LABの皆さん、ありがとうございました！



小金井市立南中学校・職場体験

2023年11月28日（火）～11月30日（木）に、小金井市立南中学校の生徒さんをお迎えし、東京学芸大学附属図書館にて職場体験を行いました。

当図書館の概要などを説明した後、カウンター業務、図書・雑誌の整理業務、和綴じの体験など、館内の業務を一通り行っていただきました。生徒さんは皆、メモを取りながらお仕事を覚え、真剣に業務に取り組んでくださいました。

小金井市立南中学校の皆さん、ありがとうございました！



2023年秋学期学習サポータ活動報告



★デジタル教科書セミナー

春学期に引き続き、秋学期もデジタル教科書セミナーを開催しました。第三回を11月22日（水）、第四回を12月20日（水）、第五回を1月24日（水）に開催しました。

第三回は出版社ごとのデジタル教科書の比較、第四回は小学校のデジタル教科書を用いた授業を体験し、第五回では中学校のデジタル教科書を用いた授業を体験しました。

セミナーが行われていない間も、デジタル教科書は自由にご覧いただけます。図書館ラーニング commonsの教科書コーナーに設置されていますので、こちらも併せてご利用ください。

★学習サポータ展示「あの人もこの人もとびだせ 学芸大生本の森」

秋学期学習サポータ展示「あの人もこの人もとびだせ 学芸大生本の森」を、11/22（水）から2/14（水）まで、図書館1階ラーニング commonsにて開催しました。

東京学芸大学創基150周年に関連して、東京学芸大学に在学した人で、各業界で羽ばたいている人材のうち、学習サポータがぜひ紹介したい！という方を図書館の所蔵資料とともに紹介しました。学芸大の先輩方がその後どんなふう活躍しているか、各ジャンルに分けてご紹介しました。



★学習サポータ展示「謎の書籍X」

2024年2月15日（木）から2024年6月まで、学習サポータ展示「謎の書籍X」が行われています。

この展示は、学習サポータが教職員・学生からのおすすめ本を集め、カバーをつけてタイトルがわからないようにして展示をするものです。カバーやタイトルによらない、偶然の出会いができる展示となっています。ぜひご覧ください。



図書館活用セミナーを通年実施中です！

当館では、図書館を使用した学習・研究に関する図書館活用セミナーを下記のように実施しています。教員からのお申し込みにより実施していますので、受けてみたいという学生の方は指導教員へご相談ください。

■図書館活用セミナー

対象：学部2～4年生、大学院生、留学生 ※授業やゼミ単位で実施

時期：通年

内容：図書館の利用方法・文献調査の方法・各種データベースの利用方法等について

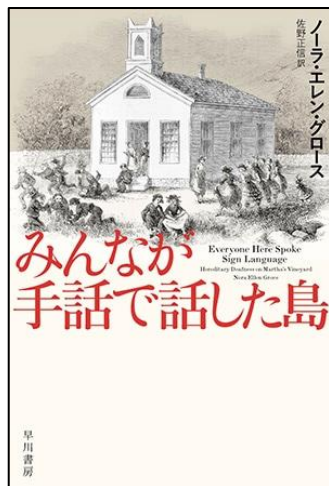
※2023年度実施回数：春学期（4～8月）9回、秋学期（10月～2月）4回 計13回



4月からは学部1年生に向けて入門セミナーを実施予定です！
詳しくは、図書館Webサイトをご覧ください。

[図書館Webサイト](#)
> 学習・研究支援 > 講習会





『みんなが手話で話した島』
ノーラ・エレン・グロース著
(早川書房, 2022.10)

ISBN : 9784150505943

請求記号 : 369.276/GRO

マジョリティとマイノリティ, 「障害者」と「健常者」という線を誰がどこで引くのか。今もしすべての人に視覚がなくなって, 「視覚障害者」がマジョリティになったとしたら, 世界はどんなふうになるだろうか。人々の行動も, もののデザインも変わるだろう。きっと夜はもっと暗くなるだろう。いささかSFじみた想像だと思われるかもしれないが, 本書で描かれているのはまさにそうした世界である。

アメリカ, ボストンの南に位置するマーサズ・ヴィンヤード島は, 20世紀初頭まで遺伝性の聴覚障害のある人が非常に多かった。そこで人々はどう暮らしていたか。「聞こえない」ということが, 「背が高い」とか「編み物が下手」というようなありふれた特徴の一つにすぎないものとして位置づけられたとき, 人々がどう暮らしていたかが丁寧なフィールドワークによって描かれている。社会が障害のある人を「受け入れる」といったとき, それはどこまで可能なのか, というのはよくある議論であるが, 本書の結論は「社会が努力すれば完全に受け入れ可能」であり, その努力は善意や論理「以外の」要因によって偶発的に発生しうることを示している。筆者の言うように, 「ハンディキャップという概念が気まぐれな社会的カテゴリー」なのだと考えると, 私はどのような気まぐれによってこの社会でカテゴライズされているのだろうか。世界の捉え方を一捻りされる良書である。

東京学芸大学附属高等学校 図書コーナー紹介

「附属高等学校は一週間に3つレポートがあり、一ヶ月に2つ行事がある！」

よく生徒が話す言葉ですが、実際に図書館で「本当だ！」と思って日々仕事をしております。そんな忙しい教員や生徒の教育支援を中心として、本校の学校図書館は授業との協働を目指しています。

写真1「音楽ブックトーク」：音楽教室に司書が出向いて音楽授業でブックトークを行います。多様なジャンルの本を使用し教科への意識や視点を高める出張授業です。

写真2「教育実習生への支援」：本校では「充実した教育実習を施す」が目標の一つとなっています。具体的な授業実践により学校図書館活用の行える教員養成を目指します。

写真3「教員図書館授業」：学校図書館は必ずしも静かな場所ではありません。新たな学習指導要領「探究活動を通して自ら学ぶ」の観点から様々な教科で図書館授業が行われています。

写真4「館内展示の様子」：教科での成果物の展示や教員推薦図書、生徒リクエスト図書等の広報を通して学びの楽しさを伝えています。

本校は総合的な文理融合型の教育をめざしており、多方面の学びに積極的に取り組んでいます。様々な分野へ進学する生徒と共にある豊かな学びを図書館運営の目標としております。

(文責：東京学芸大学附属高等学校司書 岡田和美)



音楽ブックトーク出張授業



教育実習生授業支援



図書館授業資料支援



広報・資料展示



先生のための授業に役立つ
学校図書館活用データベース

図書館
かわら
ばん

図書館かわらばん No. 11

2024年3月25日 発行

東京学芸大学附属図書館

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

TEL:042-329-7223 FAX:042-329-7226

URL:<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>

東京学芸大学附属図書館公式X (Twitter) では図書館に関するお知らせについていち早く発信しています。



[www.twitter.com/gakugei_lib](https://twitter.com/gakugei_lib)